

中学公民プリント（過去問類似）

選挙と政党

名前

得点

/10

問1 1993年に自由民主党が衆議院議員総選挙で過半数を割り込み、長年続いてきた一党優位の政治体制が幕を閉じました。このとき、自由民主党に代わって複数の政党によって組織された政権の形態として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 京都公立入試 類似)

1. 連立政権 2. 単独政権 3. 挙国一致政権 4. 暫定政権

問2 現代の民主政治における「選挙の四原則」をまとめた説明において、すべての有権者が一人一票を持ち、その一票の価値がすべて等しいものとして扱われる原則を何とといいますか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)

1. 平等選挙 2. 普通選挙 3. 秘密選挙 4. 直接選挙

問3 ある選挙において、5つの選挙区を合わせた有権者の総数が4,000人でした。この選挙の結果、各政党の得票数の合計（投票者数）が2,800人であったとき、この選挙における投票率は何%になりますか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 30% 2. 40% 3. 70% 4. 80%

問4 1890年の第1回衆議院議員総選挙では、全人口に占める有権者の割合はわずか1.1%でした。この当時、選挙権が与えられていた人物の条件として、性別・年齢のほかに定められていた経済的な要件は何ですか。 (2025年 長野公立入試 類似)

1. 直接国税を15円以上納めていること 2. 所有する土地の面積が10ヘクタール以上であること 3. 公務に従事し、一定以上の給与を得ていること 4. 銀行などの金融機関に一定額の預金があること

問5 日本の議会において、単独の政党が過半数の議席を得られなかった場合、複数の政党が基本的な政策について合意を形成した上で組織する政権を何というか、名称を答えなさい。 (2024年 愛媛公立入試 類似)

1. 連立政権 2. 単独政権 3. 挙国一致内閣 4. 暫定政権

問6 日本の選挙制度において、それぞれの選挙区に割り振られた有権者の数の違いによって、議員1人が代表する有権者の数に差が生じ、国民が持つ一票の価値に不平等が生じる問題を何とといいますか。 (2023年 和歌山公立入試 類似)

1. 一票の格差 2. 死票の増大 3. 比例代表制の不備 4. 小選挙区制の弊害

問7 日本の衆議院議員選挙などで採用されている、一つの選挙区から一人の当選者を選ぶ小選挙区制において、当選した候補者以外の落選者に投じられた票は、議席に結びつかないため何と呼ばれますか。 (2026年 愛媛公立入試 類似)

1. 死票 2. 比例代表票 3. 有効投票 4. 棄権票

問8 現代の民主政治において、野党が果たすべき重要な役割として最も適切な説明を選んでください。 (2016年 千葉県公立入試 類似)

1. 政権を担当する与党や内閣の政策を監視し、批判や対案の提示を通じて行政の独走を防ぐ。 2. 国会で予算案が否決された場合に、内閣に代わって自衛隊の指揮権を行使する。 3. 司法の独立を守るために、最高裁判所長官を独自に指名して内閣を制約する。 4. 衆議院の解散権を行使することで、いつでも総選挙を実施して政権を奪取する。

問9 2020年の統計資料によると、衆議院の小選挙区において有権者数が約48万人の選挙区と、約23万人の選挙区が存在していました。このように、各選挙区の有権者数の違いによって議員1人を選出するために必要な票数に差が生じ、有権者が持つ一票の価値が不平等になる問題を何とといいますか。 (2022年 徳島公立入試 類似)

1. 一票の格差 2. 死票の増大 3. 比例代表の不均衡 4. 小選挙区の定数問題

問10 議院内閣制において、選挙後に特定の政党が単独で過半数の議席を得られなかった場合、なぜ「連立政権」を組む必要があるのですか。その理由として最も適切なものを選んでください。 (2020年 静岡公立入試 類似)

1. 内閣総理大臣の指名や予算案の可決には国会での過半数の賛成が必要であり、政権運営を安定させるため。 2. 憲法において、政権を担当する際は必ず3つ以上の政党が協力しなければならないと定められているため。 3. 議席数が最も少ない政党が、法律によって政権に参加する権利を保障されているため。 4. 野党からの批判を避けるために、すべての政党が同じ政策を掲げる義務があるため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 連立政権	1993年の選挙後、自民党以外の8つの政党や会派が協力して細川護熙内閣を組織しました。一つの政党が単独で政権を担当するのではなく、複数の政党が政策の合意に基づいて共同で政権を運営する仕組みを連立政権と呼びます。これにより、1955年から続いてきた自民党の一党優位体制（五十五年体制）が一時的に終了しました。
問2	答え 1 平等選挙	民主政治における選挙には、重要な四つの原則があります。性別や財産にかかわらず一定の年齢に達した国民全員に選挙権を与えるのが「普通選挙」、投票の秘密を守るのが「秘密選挙」、有権者が候補者を直接選ぶのが「直接選挙」、そして、一人一票を持ちその重みを等しく扱うのが「平等選挙」です。
問3	答え 3 70%	投票率は、選挙権を持つ「有権者数」に対する、実際に投票した「投票者数」の割合で算出されます。本問の数値では、投票者数2,800人を有権者数4,000人で割る（ $2,800 \div 4,000$ ）と0.7となるため、これをパーセントに直すと70%となります。特定の政党の得票数を投票者数で割る「得票率」と混同しないように注意が必要です。
問4	答え 1 直接国税を15円以上納めていること	明治憲法下の最初の選挙では、選挙権は「直接国税15円以上を納める25歳以上の男子」に限定されていました。このため、当時の有権者は地主や豪商などの一部の富裕層に限られており、全人口の約1%程度しかいませんでした。その後、大正デモクラシーの動きの中で納税要件の撤廃を求める運動が高まりました。
問5	答え 1 連立政権	日本の議院内閣制では、内閣が国会の信任を得て存続するために、通常は議院の過半数の支持が必要となります。特定の政党が単独で過半数の議席を確保できない場合、複数の政党が政策的な妥協や合意を行うことで、共同で政権を担当する仕組みがとられます。
問6	答え 1 一票の格差	選挙区ごとの人口分布の変化により、議員1人を選出するために必要な得票数が異なってしまう現象を指します。例えば、ある選挙区では20万票で1人が当選するのに対し、別の選挙区では40万票必要である場合、後者の有権者が持つ一票の価値は前者の半分しかなくなり、民主主義の根幹である投票の平等が問われます。
問7	答え 1 死票	小選挙区制は、最も多くの票を得た一名のみが当選する仕組みであるため、落選した他の候補者に投じられた票はすべて議席の獲得に反映されません。このように、選挙結果に反映されなかった票を死票といいます。死票が多い制度では、少数の意見が政治に反映されにくいという課題が生じます。
問8	答え 1 政権を担当する与党や内閣の政策を監視し、批判や対案の提示を通じて行政の独走を防ぐ。	野党には、与党や内閣の活動が国民の利益に反していないか、あるいは憲法や法律に違反していないかを厳しくチェックする役割があります。議論を通じて政策の不備を指摘したり、国民に別の選択肢（対案）を示したりすることで、権力の濫用を防ぎ、民主主義の質を高める機能を持っています。
問9	答え 1 一票の格差	日本国憲法が定める「法の下での平等」に基づき、選挙権はすべての国民に平等に与えられるべきですが、人口移動などによって選挙区ごとの有権者数に偏りが出ると、一票が持つ影響力（重み）に差が生まれます。これを「一票の格差」と呼び、民主主義の根幹に関わる課題として、しばしば最高裁判所でも憲法違反かどうか争点となります。
問10	答え 1 内閣総理大臣の指名や予算案の可決には国会での過半数の賛成が必要であり、政権運営を安定させるため。	内閣が政治を行うためには、予算や法律を国会で成立させなければなりません。もし政権を支える勢力が過半数に満たない場合、野党の反対によってこれらが否決され、政治が滞ってしまいます。そのため、複数の政党が政策協定を結んで連立を組み、議会内での圧倒的な賛成数を確保することで、安定した統治が可能になります。